

2020

8

東京フィルハーモニー交響楽団



chie / &

2020
東京フィルの

午後のコンサート。

第19回 平日の午後のコンサート
2020.8.4(火) 14:00公演
東京オペラシティ コンサートホール

※2020年3月延期公演
第4回 渋谷の午後のコンサート
2020.8.11(火) 14:00公演
Bunkamura オーチャードホール

オフィシャル
サプライヤー

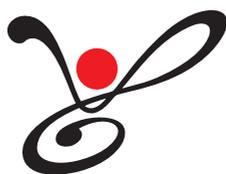
SONY

Rakuten

マルハニ

LOTTE

ゆうちょ銀行



©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます
ホールに満ちるオーケストラの響きを
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

第19回

平日の午後のコンサート。

8.4(火)14:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
 Tue. August 4, 2020, 14:00 at Tokyo Opera City Concert Hall

<250才のベートーヴェン>
 “Celebrating Beethoven's 250th Birthday”

指揮とお話 小林研一郎 Ken-ichiro Kobayashi, conductor & speaker

ナビゲーター 田添菜穂子 Nahoko Tazoe, MC

コンサートマスター 三浦章宏 Akihiro Miura, concertmaster

ベートーヴェン：劇音楽『エグモント』序曲 Op. 84 (約8分)
 Beethoven: Overture from “Egmont”, Op. 84 (ca. 8 min)

ベートーヴェン：交響曲第5番 ハ短調 Op. 67 『運命』より第1楽章 (約8分)
 Beethoven: 1st movement from Symphony No. 5 in C minor, Op. 67 (ca. 8 min)

ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 Op. 92 (約40分)
 Beethoven: Symphony No. 7 in A major, Op. 92 (ca. 40 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業） | 独立行政法人 日本芸術文化振興会

Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan | Japan Arts Council



※当初の発表から指揮者・曲目が変更となっております。

※本公演においては公演中もご入退場いただけます。再入場・途中入場の際には入場券記載とは異なるお席への着席をお願いすることがございます。

※お帰りの際には、<ご来場者のご氏名・ご住所・電話連絡先>をご記入いただいた入場券はがきをロビーの回収箱に投函してお帰りください。ご協力をお願い申し上げます。

- As there will be no intermission during the concert in order to preserve social distancing, entering and exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed.
- If you enter or reenter in the middle of the concert, we may escort you to a seat different from the one you were originally assigned.
- Please write your name/address/phone number in the permission post card, and post it in the collection box in the lobby before you leave the concert. We would sincerely appreciate your cooperation.

出演者プロフィール

指揮とお話 小林 研一郎

Ken-ichiro Kobayashi, conductor

東京藝術大学作曲科及び指揮科を卒業。第1回ブダベスト国際指揮者コンクールでの鮮烈な優勝を飾ったことを皮切りに世界的に活動の場を拡げ、2020年4月に80歳(傘寿)を迎えた現在も第一線で活躍を続けている。これまでにハンガリー国立響(現:ハンガリー国立フィル)音楽総監督、日本フィル音楽監督、アーネム・フィル常任指揮者をはじめ、国内外の名立たるオーケストラのポジションを歴任。長年にわたる文化を通じた国際交流や社会貢献によって、ハンガリー政府よりリスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、星付中十字勲章、同国で最高位となるハンガリー国大十字功労勲章、ハンガリー文化大使の称号を、国内では2011年に文化庁長官表彰、2013年に旭日中綬章が授与された。現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル及び名古屋フィル桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、群響ミュージック・アドバイザー、九響名誉客演指揮者、東京文化会館音楽監督、東京藝術大学・リスト音楽院名誉教授、ローム ミュージック ファンデーション評議員などを務める。



©山本倫子

オフィシャル・ホームページ <http://www.it-japan.co.jp/kobaken/>

ナビゲーター 田添 菜穂子

Nahoko Tazoe, MC

横浜国立大学経済学部卒業後、東北放送(TBS系列)にアナウンサーとして入社、その後フリーとなり東京に活動の拠点を移す。テレビ、ラジオでニュース番組や情報番組のキャスター、リポーターとして活躍するほか、イギリス留学経験を活かし、日・英二か国語での司会、インタビューも行う。一方で、クラシック音楽をこよなく愛することから、東京フィルをはじめとするオーケストラでのコンサートや学校向け音楽鑑賞教室の司会を数多く担当。NHK-FMやNHKEテレなどでクラシック番組のナビゲーターやナレーターも務める。趣味はフルート、茶道。



プログラム・ノート

解説=柴田 克彦

生誕250周年ベートーヴェンの名曲を
コバケンの“熱き円熟”の指揮で!

今回の「平日の午後のコンサート」のテーマは〈250才のベートーヴェン〉。今年80歳を迎えた“炎のコバケン”小林研一郎が、生誕250周年を迎えた“楽聖”ベートーヴェンの代表曲を披露します。

2007年以降毎年（2010年を除く）大晦日に全9曲の交響曲を指揮するなど、コバケンにとってベートーヴェンは永遠の座右レパートリー。情熱的な活力に余情や滋味を加えた、マエストロの“熱き円熟”も聴きものとなります。

かねてより苦難の時代には、“苦悩から歓喜へ”がモットーのベートーヴェンが支持されてきました。今回も高揚感に溢れたその音楽から元気をもらうことにしましょう。



マエストロ“コバケン”の熱いベートーヴェンをお楽しみください

©上野隆文

音楽を“職人芸”から“芸術”に変えた大作曲家はクラシックで最初のフリーランス作曲家でもあった



ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)は、ハイドン、モーツァルトに続くウィーン古典派の巨匠。今年250歳ですが、実は正確な誕生日がわかっておらず、12月17日に洗礼を受けた記録から、前日の12月16日説が主たる見方となっています。

ドイツのボンに生まれた彼は、宮廷歌手だった父のてほどきで音楽を始め、11歳時に現存する最初の作品を作曲。才能を認められて1792年ウィーンへ移り、ピアニストとして活躍しながら頭角を現しました。その後は、耳の病を乗り越えて旺盛な創作活動を行い、バイブル的存在となった9曲の交響曲、16曲の弦楽四重奏曲、32曲のピアノ・ソナタをはじめ、多数の作品を発表。劇的で深い音楽は、後世に絶大な影響を与えました。

それまでの作曲家とベートーヴェンの決定的な違いは、特定の宮廷や教会に雇用されることなく作曲を続けたこと。彼は実質的にフリーランスを貫いた史上初の大作曲家でした。そのため創作は自身の意志で行い、自ら「Op. (作品)」番号を記した史上初の大作曲家ともなりました。さらには基本的に同じような曲を書かなかったことも特筆されます。つまり音楽を“職人芸”から“芸術”に変えたのがベートーヴェン。それは彼以降の作曲家の方向性を決定付けることになりました。

1770年(0歳)
ドイツのボンに生まれる

1792年(21歳)
ウィーンへ移る

1807~08年(37歳)
交響曲第5番『運命』

1809~10年(39歳)
劇音楽『エグモント』

1811~12年(41歳)
交響曲第7番

1827年(56歳)
3月26日ウィーンにて没



ベートーヴェンの生誕地、ドイツのボンの風景

文豪ゲーテの同名戯曲のために作られた劇音楽から 劇全体の悲劇性を凝縮したような序曲を

幕開けは劇音楽『エグモント』序曲。ベートーヴェンを代表する管弦楽曲の1つです。エグモントは16世紀に実在したオランダ独立運動の指導者。ドイツの文豪ゲーテは、スペインの圧政に対抗したこの悲劇の英雄の史実に恋愛等の脚色をまじえて、同名の戯曲を創作しました。1810年、同戯曲のウィーン初演にあたり、宮廷劇場の支配人から依頼されて書かれたのが劇音楽『エグモント』。ゲーテを敬愛するベートーヴェンは意欲的に取り組み、序曲と9曲の音楽を完成しました。現在、全曲の演奏機会は少ないのですが、序曲は頻繁に演奏されています。

曲は劇全体をコンパクトに凝縮した内容。ソステヌート・マ・ノン・トロポの序奏、アレグロの主部、アレグロ・コン・ブリオのコーダからなっています。序奏はへ音の総奏で始まる荘重な音楽。主部は不安な主題と穏やかな主題が交錯し、英雄を讃えた輝かしいコーダ（劇の最後を飾る「勝利のシンフォニー」の引用）に至ります。

1つの動機の連続が緊迫感を生み出す クラシック音楽の代名詞『運命』の第1楽章

おつぎは交響曲第5番『運命』より第1楽章。クラシック音楽の代名詞たるこの曲は、“傑作の森”と呼ばれる創作中期の1807～08年に作曲されました。『運命』の名は、「ジャジャジャ・ジャー」の出だしに関して「『運命はこのようにして扉を叩く』とベートーヴェンが語った」という弟子シンドラーが伝える逸話に由来していますが、彼の話は捏造が多く、これも信憑性は低いとされています。

第1楽章（アレグロ・コン・ブリオ）は、旋律ではなく、4音の動機（冒頭に奏される「運命動機」）の緻密な積み重ねで構成された画期的な楽章。1つの動機の連続が緊迫感を生み出すハ短調の劇的な音楽です。

初演で生涯屈指の大成功を収めたベート リズムの強調とカンタービレが共存した名曲

後半は**交響曲第7番**。1811～13年に作曲された中期後半の作品です。公開初演されたのは、1813年12月のウィーン大学講堂における「戦争傷病兵のための慈善コンサート」。これは、ナポレオン軍に対する戦勝ムードの中で開催され、受け狙いの「戦争交響曲『ウェリントンの勝利』」も同時に初演された祝祭的な公演でした。そこに明快でビートの効いた第7番はきわめてタイムリー。おかげで生涯屈指の大成功を収め、ベートーヴェン生前における最大のヒット交響曲となりました。

9曲の交響曲1曲ごとに新たな試みを行ったベートーヴェンがここで打ち出したのは、“リズムの徹底的な強調”。各楽章に設けられた一定のリズム・パターンを終始強調することで、無類の推進力と生命力が生み出されていきます。しかもリズムとカンタービレ（歌うこと）の共存に成功している点が見事。純粋な緩徐楽章が置かれていないのも、曲の意図と連動した大きな特徴です。

第1楽章（ポーコ・ソステヌートーヴィヴァーチェ）は、長めの序奏に始まり、「ターン・タタン」のリズムを主体に熱狂的な盛り上がりを見せます。

第2楽章（アレグレット）は、「タータタ・ターター」のリズム動機が支配する、哀愁を帯びた音楽。「不滅のアレグレット」と呼ばれる名楽章です。

第3楽章（プレスト）は、「タタタ・タタタ」の3連音を基本リズムとする弾んだスケルツォに、民謡風の伸びやかなトリオ（中間部）が2度挟まれます。

第4楽章（アレグロ・コン・ブリオ）は、冒頭の「タンタタタン」のリズムを軸にした推進力抜群のフィナーレ。圧倒的な狂乱状態が生み出されます。



ウィーンのベートーヴェン広場にあるベートーヴェンの彫像

しばた・かつひこ（音楽ライター）／音楽マネージメント勤務を経て、フリーランスの音楽ライター、評論家、編集者となる。雑誌、公演プログラム、宣伝媒体、CDブックレット等への寄稿、プログラム等の編集業務のほか、一般向けの講演や講座も行うなど、幅広く活動中。著書に「山本直純と小澤征爾」（朝日新書）。

※2020年3月延期公演

第4回

渋谷の午後のコンサート

8.11 (火) 14:00開演 Bunkamura オーチャードホール

Tue. August 11, 2020, 14:00 at Bunkamura Orchard Hall

<コバケンの新世界>

Kobaken's "From the New World"

指揮とお話 小林研一郎 Ken-ichiro Kobayashi, conductor & speaker

ギター 村治佳織* Kaori Muraji, guitar

コンサートマスター 三浦章宏 Akihiro Miura, concertmaster

ベートーヴェン：劇音楽『エグモント』序曲 Op. 84 (約8分)

Beethoven: Overture from "Egmont", Op. 84 (ca. 8 min)

ロドリゴ：アランフェス協奏曲* (約25分)

Rodrigo: Concierto de Aranjuez (ca. 25 min)

ドヴォルザーク：交響曲第9番 ホ短調 Op. 95 『新世界より』(約45分)

Dvořák: Symphony No. 9 in E minor, Op. 95, "From the New World" (ca. 45 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）| 独立行政法人 日本芸術文化振興会

協力：Bunkamura

Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan | Japan Arts Council

In Association with Bunkamura



※本公演においては公演中もご入退場いただけます。再入場・途中入場の際には入場券記載とは異なるお席への着席をお願いすることがございます。

※お帰りの際には、<ご来場者のご氏名・ご住所・電話連絡先>をご記入いただいた入場券はがきをロビーの回収箱に投函してお帰りください。ご協力をお願い申し上げます。

- Entering and exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed.
- If you enter or reenter in the middle of the concert, we may escort you to a seat different from the one you were originally assigned.
- Please write your name/address/phone number in the permission post card, and post it in the collection box in the lobby before you leave the concert. We would sincerely appreciate your cooperation.

出演者プロフィール

※指揮者プロフィールは4ページをご参照ください。



©Ayako Yamamoto

ギター 村治佳織

Kaori Muraji, guitar

幼少の頃より数々のコンクールで優勝を果たし、ピクターより15歳でCDデビューを飾る。1996年には、イタリア国立放送交響楽団との共演がヨーロッパ全土に放送され好評を得た。フランス留学から帰国後、積極的なソロ活動を展開。N響ほか国内主要オーケストラ及び欧州のオーケストラとの共演も多数重ね、2003年英国の名門クラシックレーベルDECCAと日本人としては初の長期専属契約を結ぶ。受賞歴も多く、第5回出光音楽賞、村松賞、第9回ホテルオーケストラ音楽賞を受賞。2012年NHK-Eテレ「テレビでフランス語」や、J-WAVE(FM)のナビゲーターなど、多数の番組に出演。2017年4月よりJ-WAVE「RINREI CLASSY LIVING」のナビゲーターを担当している。11月には、ベストドレッサー賞(学術・文化部門)を受賞。2018年9月にリリースした『シネマ』は、第33回日本ゴールドディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。2019年1月アランフェス協奏曲を連続4公演成功させる。6月には横浜開港記念式典での記念コンサートに出演し好評を博す。また、ブルガリア アウローラ アワード2019を受賞。12月には、サントリーホール・大ホールにてソロリサイタルを行い、満席の中成功を取めた。

OFFICIAL HP <http://www.officemuraji.com>

プログラム・ノート

解説=飯尾 洋一

本日の公演について

8/11

本日の渋谷の午後のコンサートは「コバケンの新世界」。「コバケン」の愛称で親しまれている名指揮者、小林研一郎のもうひとつの異名は「炎のマエストロ」。情熱あふれるマエストロの指揮ぶりから、このニックネームが定着しました。今年80歳を迎えたマエストロですが、いまだその炎は燃え続けています。ドヴォルザークの『新世界より』では、熱いクライマックスが築かれるにちがいません。

ロドリーゴの「アランフェス協奏曲」では村治佳織がギター独奏を務めます。この曲はクラシックのギタリストにとって大切なレパートリー。ロドリーゴは1999年に世を去りましたが、その最期の年に村治さんはロドリーゴに対面して、彼の作品を演奏する機会を得ました。作曲者への格別の思いを込めた「アランフェス協奏曲」を披露してくれることでしょう。



マエストロ・コバケンが世界で愛される名曲の数々をご紹介します

©上野隆文

ベートーヴェン：劇音楽『エグモント』序曲 悲運のヒーローを力強く賛美する



2020年はベートーヴェンの生誕250周年。ベートーヴェンはいつの時代にも人気作曲家ですが、今年はベートーヴェンの名曲を耳にする機会がいっそう増えているかもしれません。

劇音楽『エグモント』序曲は1810年の作品。『運命』『田園』『皇帝』といった中期の傑作群と同時期に書かれました。

「劇音楽」という言葉はあまりなじみがないかもしれませんが、古来より劇の上演には音楽が付きもの。19世紀には現代のような録音再生技術が使えませんが、劇のために音楽が欲しいと思ったら、生身の人間が演奏するほかありません。そこで、当時は劇の上演用に作曲家が新たに曲を書いていたのです。

「エグモント」の原作はゲーテ。実在の人物エグモント伯ラモラルをモデルにした史実に基づく物語で、スペイン圧政下のオランダで祖国の独立運動のために戦ったエグモント伯が、反逆罪で捕らえられて、死刑を宣告される悲劇が描かれます。ベートーヴェンはこの劇のために10曲を作曲していますが、なかでも名高いのが序曲。エグモントの悲運を示唆するように、重々しい強奏によって開始され、緊迫感あふれる闘争的な楽想が続きます。終結部は勝利の音楽。エグモントの英雄的な精神を熱狂的に讃えて曲を閉じます。



「エグモント」序曲が初演された旧ブルク劇場（1888年）

ロドリゴ：アランフェス協奏曲 第2楽章の甘美なメロディが郷愁を誘う

あらゆるギター協奏曲のなかでも、この「アランフェス協奏曲」の第2楽章ほど広く親しまれている作品はないでしょう。サラ・ブライトマン、マイルス・デイヴィス、ポール・モーリアなど、この曲をカバーしたアーティストは数知れず。フィギュアスケートやテレビCMなどでもよく使用される、だれもがどこかで耳にしたことのある名曲です。

作曲者のホアキン・ロドリゴは1901年、スペインのバレンシア州サグントの生まれ。1936年から39年にかけてのスペイン内戦の間はパリとドイツに住み、39年に帰国してマドリードを拠点に活動しました。この「アランフェス協奏曲」は内戦が終わったばかりの1940年に発表された作品です。

曲名の「アランフェス」とはマドリード州南部の緑豊かな古都で、世界遺産にも登録されたスペイン王宮と庭園で知られています。ロドリゴはこの曲で、「貴族的な要素と民衆的な要素がひとつに溶けあっていたスペインの面影を作品に描こうとした」と語っています。内戦に心を痛め、古き良き時代の祖国への思いを曲に込めたともいえるでしょう。

これだけ有名なギター協奏曲を書いたロドリゴですが、実はギターの奏法についてはほとんど知らなかったため、作曲にあたってはマドリード王立音楽院教授を務めたギタリスト、レヒーノ・サインス・デ・ラ・マーサからアドバイスを受けてきました。デ・ラ・マーサの独奏による初演は大成功を収め、たちまち20世紀のギター協奏曲を代表する名作として愛奏されることとなりました。

第1楽章 アレグロ・コン・スピリト 軽快で活発なリズムから、スペイン情緒が漂ってきます。

第2楽章 アダージョ あの有名なメロディがイングリッシュ・ホルンで奏でられます。後半はギター独奏のみによるソリストの聴かせどころも。

第3楽章 アレグロ・ジェンティーレ 民謡風の朗らかなテーマが奏でられ、ギターとオーケストラの掛け合いが楽しげにくりひろげられます。

ドヴォルザーク：交響曲第9番『新世界より』 新天地アメリカから故郷に思いを馳せて



もし未知の外国で新しいチャレンジをしたら、何歳まで可能でしょうか。

1891年、チェコの作曲家ドヴォルザークのもとに、新大陸アメリカからニューヨークのナショナル音楽院の院長に就任してくれないかというオファーが届きました。オファーを出したのは、裕福な食品卸売業の夫を持つジャネット・サーバー。歴史の浅いアメリカにもヨーロッパのような本格的な音楽院が必要だと考えて、国際的な知名度を誇るドヴォルザークに白羽の矢を立てたのです。

しかし、ドヴォルザークはもう50歳。すでにヨーロッパで名声を築いているのに、なぜはるばるアメリカまで旅をしなければならないのか。当初、ドヴォルザークはこのオファーに乗り気ではありませんでした。なにしろジェット機が飛び交う現代とは違って、ヨーロッパからアメリカまでは船で片道10日以上を要します。気軽に行ける場所ではありません。

それでもサーバー夫人はあきらめませんでした。桁外れの高額の報酬を提示し、粘り強く交渉を重ねた結果、ついにドヴォルザークは首を縦に振ることになりました。アメリカに渡ったドヴォルザークは、この地で黒人霊歌や先住民の音



1870年ごろのサーバー夫人



1893年のニューヨークでのドヴォルザーク家と友人たち

楽に会い、未知の音楽から大きな刺激を受けます。そして書きあげたのが**交響曲第9番『新世界より』**。作曲者自身が「わずかにアメリカ風である」と認める一方、この曲からはドヴォルザーク本来のチェコ風の香りも漂ってきます。

第1楽章 アダージョーアレグロ・モルト ゆったりした序奏で始まり、緊迫感あふれる楽想がくりひろげられます。体中にパワーがみなぎっているかのよう。

第2楽章 ラルゴ 「遠き山に日は落ちて」や「家路」の題で歌われる有名なメロディが、イングリッシュ・ホルンによって奏でられ、郷愁を誘います。

第3楽章 スケルツォ、モルト・ヴィヴァーチェ 土の香りが漂ってくるようなダンスの音楽。トライアングルがチャミング。

第4楽章 アレグロ・コン・フォーコ 大の鉄道マニアだったドヴォルザーク。フィナーレはあたかも機関車が徐々に加速して爆走するかのよう開始されます。決然としたテーマを鳴り響かせて、壮大なクライマックスへと突き進みます。



大の鉄道マニアだったドヴォルザーク

いいお・よういち（音楽ジャーナリスト）／著書に『クラシック音楽のトリセツ』（SB新書）、『R40のクラシック』（廣済堂新書）、『マンガで教養 やさしいクラシック』監修（朝日新聞出版）他。雑誌やウェブ、コンサート・プログラム等に幅広く執筆する。テレビ朝日「題名のない音楽会」他、放送でも活動。

次回の **午後のコンサート**



9/8(火)
第7回 渋谷の午後のコンサート
〈ウィーンの森で〉

指揮とお話：小林研一郎 ナビゲーター：田添菜穂子

J.シュトラウスII/ワルツ『美しく青きドナウ』

J.シュトラウスII、ヨーゼフ・シュトラウス/
ピチカート・ポルカ

J.シュトラウスII/ワルツ『ウィーンの森の物語』

ベートーヴェン/交響曲第6番『田園』



©山本倫子

小林研一郎 福島県いわき市出身。名実共に日本を代表する指揮者として今年4月に80歳を迎えた現在も国内外の第一線で活躍を続けるマエストロ。幼少期ベートーヴェン「第九」を聴いて音楽家を志す。ベートーヴェンへの愛と敬意はとどまることを知らない。東京フィル「午後のコンサート」への出演も数多く、温かみ溢れる話術が人気を博す。



10/14(水)
第20回 平日の午後のコンサート
〈夢見る頃を過ぎても〉

指揮とお話：角田鋼亮 ヴァイオリン：前橋汀子*

ワーグナー/楽劇『ニュルンベルクのマイスタ
タージンガー』より第1幕への前奏曲

エルガー/愛の挨拶*

マスネ/タイスの瞑想曲*

サラサーテ/ツィゴイネルワイゼン*

ウェーバー/歌劇『魔弾の射手』序曲

ワーグナー/歌劇『タンホイザー』序曲



©Hikaru Hoshi



©磯山紀信

角田鋼亮 2016年、第11回名古屋ペンクラブ音楽賞を受賞。現在、セントラル愛知交響楽団常任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者。若さ溢れるエネルギッシュな指揮ぶりで好評を博し、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拡げている。「午後のコンサート」には初登場。

前橋汀子 日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして、その演奏は優雅さと円熟味に溢れ、多くの聴衆を魅了してやまない。ベルリン・フィル、ロイヤル・フィルなどの名楽団、小澤征爾など世界的音楽家との共演を重ねている。最新CDは「バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ全集」(2019年8月発売)。2011年春の紫綬褒章、2017年春の旭日小綬章を受章。使用楽器は1736年製作のデル・ジェス・グァルネリウス。

「休日の午後のコンサート」他、9月以降の情報は次のページをご覧ください。
今季もマエストロと豪華ソリストたちが織りなす楽しいコンサートが目白押し。
引き続きどうぞお楽しみください。



2020シーズン 午後のコンサート。「夢見る頃を過ぎても」



東京フィルでは、ご来場の皆様や出演者の安全を最優先に、演奏会場等での感染拡大防止のための環境整備を行うため、「午後のコンサート」チケットの販売を一時休止しております。新たな決定事項は、随時、東京フィルウェブサイトやダイレクトメール等でご案内をさせていただきます。

■ 問合せ 東京フィルチケットサービス

Tel 03-5353-9522
(平日10時～18時・土日祝休)

URL www.tpo.or.jp/

渋谷の午後のコンサート Bunkamuraオーチャードホール

2020シーズン
第7回

9月8日(火)
〈ウィーンの森で〉

指揮とお話：小林研一郎
ナビゲーター：田添菜穂子

J. シュトラウスII / ワルツ『美しく青きドナウ』
ワルツ『ウィーンの森の物語』

J. シュトラウスII、ヨーゼフ・シュトラウス / ピチカート・ポルカ
ベートーヴェン / 交響曲第6番『田園』



第8回

11月25日(水)
〈あの名曲アルバム〉

指揮とお話：円光寺雅彦
ピアノ：清塚信也*

ベルリオーズ / 劇的物語『ファウストの劫罰』より
「ラコッツィ行進曲」

ヴォルフ＝フェラーリ / 歌劇『マドンナの宝石』間奏曲
ガーシュウィン / ラプソディ・イン・ブルー*

ポンキエリ / 歌劇『ラ・ジョコンダ』より「時の踊り」
ベルリオーズ / 幻想交響曲より第4楽章、第5楽章



平日の午後のコンサート 東京オペラシティコンサートホール *託児有

第20回

10月14日(水)
〈夢見る頃を過ぎても〉

指揮とお話：角田鋼亮
ヴァイオリン：前橋汀子*

ワーグナー／楽劇『ニュルンベルクの
マイスタージンガー』より第1幕への前奏曲
エルガー／愛の挨拶*
マスネ／タイスの瞑想曲*
サラサーテ／ツィゴイネルワイゼン*
ウェーバー／歌劇『魔弾の射手』序曲
ワーグナー／歌劇『タンホイザー』序曲



休日の午後のコンサート 東京オペラシティコンサートホール *託児有

第85回

9月6日(日)
〈ウィーンの森で〉

指揮とお話：小林研一郎
ナビゲーター：田添菜穂子

J. シュトラウスII／ワルツ『美しく青きドナウ』
ワルツ『ウィーンの森の物語』
J. シュトラウスII、ヨーゼフ・シュトラウス／ピチカート・波尔カ
ベートーヴェン／交響曲第6番『田圃』



第86回

11月22日(日)
〈夢見る日々
～いい夫婦の日～〉

指揮とお話：円光寺雅彦
ソプラノ：市原 愛*

メンデルスゾーン／劇音楽『真夏の夜の夢』より『結婚行進曲』
J.S. バッハ＝ブノー／アヴェ・マリア*
ヘンデル／歌劇『セルセ』より『オンブラ・マイ・フ』*
ベルリオーズ／劇的物語『ファウストの劫罰』より
『ラコッツィ行進曲』
ヴォルフ＝フェラーリ／歌劇『マドンナの宝石』間奏曲
ベルリオーズ／幻想交響曲より第4楽章、第5楽章



第87回

2021年
1月11日(月・祝)
〈夢のつづき〉

指揮とお話：三ツ橋敬子

スメタナ／連作交響詩『わが祖国』より『モルダウ』
J. シュトラウスII／トリッチ・トラッチ・波尔カ
ドヴォルザーク／交響曲第9番『新世界より』より第4楽章



東京フィルメンバーからのメッセージ

東京フィルメンバーからの
メッセージをご紹介します。



自粛期間中は、お客様のあたたかい拍手や、ブラボー!の歓声を聴くことができず、とても虚しい日々でした。

オーケストラ生活から離れ、改めて、生の音があつ特別なエネルギーに気づかされました。

今こうして、また皆様の前で演奏できること、本当に嬉しく思っております。

音楽を通して、皆様の心が満たされますように。(ヴァイオリン 藤瀬実沙子)

公演中止の知らせが次々と届き、不安でたまらない頃に、定期会員のお客様からご連絡を頂きました。「公演中止のお知らせと共にチケットの払い戻しがありました。寄附金としそのまま返金させてもらいました。楽団員さんのことを思うと心が痛みます」と、温かいお言葉でした。なんとありがたく、励みになったことでしょう。人との距離を取らなければならなくなった今、人との関係とその存在を、より近く、より多く感じています。この気持ちを大切に、音で恩返しができるよう努めて参ります。(コントラバス副首席 小笠原茅乃)

演奏会がない……初めは喪失感から何も手につかなかったのに気付いたら自宅に録音機材を揃えてオーボエの基礎練動画や演奏をSNSに上げたりしていました。先月「洪

谷の午後のコンサート」で復帰しましたが、お客様の笑顔に再会で涙が出ました。ありがとうございました! 少しずつ日常が戻るよう、引き続き予防と練習を続けていきます。(オーボエ首席 加瀬孝宏)

しばらくはスマホのソフトで多重録音をしたり、遠くの街の音楽家と音を重ねたりしておりました。小さなスマホ一台の可能性に感動しておりましたが、だんだんと自分の演奏すらソフトの操作の上では電子音と同じ素材のひとつに過ぎないという不思議な感覚に襲われました。難しいご時世ですが、最新技術と上手く付き合いながら、生演奏に軸足を置きたいと考えています。(ホルン 木村俊介)

本日はご来場頂き、ありがとうございます。

3月途中から新型コロナウイルスの影響で演奏会が軒並み中止となり、7月の「午後コン」まで全く仕事をしていませんでした。外出を最小限にし、妻と2人で自宅にほとんど缶詰め状態になっておりましたが、老後を垣間見た様で、色々な意味で考えさせられました。

私にとって、お客様の前でオーケストラの一員として演奏する喜びは何物にも代え難いものです。今日、再びその機会に恵まれた事を感謝致します。(トランペット 前田寛人)

Photo Reports 2020年7月のステージより

7月の東京フィルは「午後のコンサート」と6月につづき定期演奏会を開催しました。渋谷の午後のコンサート／休日の午後のコンサートはいずれも2020シーズン最初の開催となりました。

第6回渋谷の午後のコンサート〈第2の国歌を知っていますか?〉

7月2日(木) Bunkamuraオーチャードホール

撮影=三好英輔

指揮とお話：尾高忠明

ピアノ：高木竜馬*

コンサートマスター：近藤薫

エルガー／行進曲『威風堂々』第1番

ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番*

シベリウス／交響曲『フィンランディア』

J.ウィリアムズ／組曲『スター・ウォーズ』



マエストロ尾高とソリスト高木竜馬さんを迎えて、名曲と楽しいお話をお届けしました



2020シーズン最初の「渋谷の午後のコンサート」となりました



ウィーン在住のピアニスト高木竜馬さんがふたたび「午後のコンサート」シリーズに登場



高木竜馬さんはラフマニノフ「ピアノ協奏曲第2番」を熟演



マエストロ尾高のお話とともに

7月定期演奏会

7月15日(水) サントリーホール

7月17日(金) 東京オペラシティコンサートホール

7月19日(日) Bunkamura オーチャードホール

指揮：佐渡 裕

コンサートマスター：三浦章宏

ベートーヴェン／序曲『コリアン』

ベートーヴェン／交響曲第7番

※当初予定されていた演目・出演者が変更となりました。



マエストロ佐渡とともに熱演を聴かせたオーケストラ。コンサートマスター三浦章宏にとっては「5か月ぶりのオーケストラ」とのこと



4月の定期演奏会と「渋谷／平日の午後のコンサート」に出演を予定していた佐渡裕マエストロが急遽登壇。今年生誕250年を迎えたベートーヴェン・プログラムをお届けしました



時差入場で早くお越しいただいたお客様へのプレコンサートでは、マエストロがフルートを手に登場。喝采を浴びました ©上野隆文

第84回休日の午後のコンサート〈勝利への行進〉

7月23日(木・祝) 東京オペラシティ コンサートホール

指揮とお話：尾高忠明

コンサートマスター：依田真宣

今井光也／オリンピック東京大会ファンファーレ

古関裕而／東京オリンピック・マーチ

ネッケ／クシコス・ポスト

カバレフスキー／道化師のギャロップ

ロッシェニ／歌劇『ウィリアム・テル』序曲

リンケ／行進曲『ベルリンの風』

ベートーヴェン／劇音楽『アテネの廃墟』第4曲「トルコ行進曲」

エルガー／行進曲『威風堂々』第1番

演奏会場の感染対策についてのご報告

演奏会の再開にあたり、リハーサルから本番に至るまで、お客様、出演者、スタッフ等、すべての関係者の安全と健康を最優先に、日本国政府・東京都および関係団体から発表された新型コロナウイルス感染拡大予防のためのガイドラインに従い、舞台上・舞台裏・楽屋・客席ロビーなどにおける対策を講じました。一部をご紹介します。



入場前の手指消毒、間をあけて整列のお願い



入場券(座席番号はがき)の目視確認と、サーモグラフィカメラ等での検温を行っています



ソーシャルディスタンスによる再配席を行い、入場券(座席番号はがき)にご来場者様の連絡先を記入いただき、終演後に回収しております。ご連絡先は公演後1か月間、厳重に保管の後、焼却処分いたします。防疫上の目的以外には使用いたしません。

ロビーの混雑を避けるため、ご来場前にご記入をいただけますと幸いです。

法人賛助会員様より
マスクのご寄附をいただきました。

東京フィルをご支援いただいている法人賛助会員の日本ライフライン株式会社(代表取締役社長:鈴木啓介)様からディスプレイマスクを5,000枚ご寄附いただきました。

スタッフ・メンバーでの着用など有効に活用させていただきます。この場を借りて御礼申し上げます。



写真=三浦興一

ご支援の御礼とお願い

今般の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2月下旬より東京フィルが出演する演奏会の全てが中止・延期となりました。東京フィルの財源は演奏料収入がほとんどを占めるため、演奏会およびチケット収入の壊滅は団体存続の危機に直結いたします。そのような中、たくさんの方の励ましのお言葉とともに、中止公演のチケット払戻し辞退によるご寄附や、銀行振込等による温かいご支援をいただきました。心よりお礼申し上げます。

今後の演奏会も、感染症拡大防止の観点から、当面の間はチケットの販売数等、規模を縮小しての開催が見込まれております。

皆様のご寄附が大きな力となります。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただけますと幸いです。1万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会（本冊子27ページ）も併せてご覧ください。

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行 (郵便振替)	00120-2-30370	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団
三井住友銀行・ 東京公務部(096)	普通預金 3003239	

※ 寄附金額は自由に設定いただけます。

※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※ 領収証書が必要な方は、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項を記入して、下記送付先へご送付ください。寄附申込書の書式については、下記ウェブサイトまたは問合せ先へご照会ください。

寄附申込書のダウンロードはこちらから

https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf



【寄附申込書 送付先／お問合せ】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階
Fax 03-5353-9523 Eメール: partner@tpo.or.jp
Tel 03-5353-9521 (土日祝日を除く10時～18時)

新涼の候、皆様におかれましてはますます清祥のこととお慶び申し上げます。
 新しい世界への歩みを感じさせるような、心に染みる調べをご堪能ください。
 引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史

賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、
 法人並びに個人(パートナー会員)の皆様のご寄附により支えていただいております。
 ここにそのご芳名を掲げ、改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー (敬称略)

ソニー(株)	代表執行役 会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎
楽天株式会社	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
株式会社マルハン	代表取締役会長	韓 昌祐
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	牛腸 栄一
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	池田 憲人

法人会員

賛助会員 (五十音順・敬称略)

(株)IHI	代表取締役社長 満岡 次郎	(株)インターテキスト	代表取締役 海野 裕
(株)アイエムエス	取締役会長 前野 武史	ANAホールディングス(株)	代表取締役社長 片野坂 真哉
相澤内科医院	理事長 相澤 研一	(株)NHKエンタープライズ	代表取締役社長 安齋 尚志
アイシステム(株)	代表取締役会長 兼 社長 松崎 務	桜美林大学	総長 佐藤 東洋士
(株)アシックス	代表取締役会長CEO 尾山 基	大塚化学(株)	特別相談役 大塚 雄二郎

(株)オーデオテクニカ	代表取締役社長	松下 和雄
(公財)オリックス宮内財団	代表理事	宮内 義彦
花王(株)	代表取締役 社長執行役員	澤田 道隆
カシオ計算機(株)	代表取締役社長	樫尾 和宏
キャノン(株)	代表取締役会長 CEO	御手洗 富士夫
(株)グリーンハウス	代表取締役社長	田沼 千秋
(株)ケイブ	取締役会長	高野 健一
(医)浩仁会 矢田眼科医院	理事長	矢田 浩二
コスモエネルギーホールディングス(株)	代表取締役社長 社長執行役員	桐山 浩
サントリーホールディングス(株)	代表取締役社長	新浪 剛史
信金中央金庫	理事長	柴田 弘之
新興和製薬(株)	代表取締役	田中 めぐみ
新菱冷熱工業(株)	代表取締役社長	加賀美 猛
(株)J.Y.PLANNING	代表取締役	遅澤 准
(株)滋慶	代表取締役社長	田仲 豊徳
(株)ジーヴァエナジー	代表取締役社長	金田 直己
ジューテックホールディングス(株)	代表取締役会長	足立 建一郎
菅波楽器(株)	代表取締役社長	菅波 康郎
相互物産(株)	代表取締役会長	小澤 勉
ソニー(株)	代表執行役 会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎
ソニー生命保険(株)	代表取締役社長	萩本 友男
(株)ソニーミュージックエンタテインメント	代表取締役社長CEO	村松 俊亮
(株)大丸松坂屋百貨店	代表取締役社長	澤田 太郎
高砂熱学工業(株)	代表取締役社長	小島 和人
(株)タクト	代表取締役	苗代 政治
都築学園グループ	総長	都築 仁子

(株)テクノスジャパン	代表取締役社長	吉岡 隆
東急(株)	取締役社長	高橋 和夫
東京オペラシティビル(株)	代表取締役社長	三和 千之
東レ(株)	代表取締役社長	日覺 昭廣
トッパン・フォームズ(株)	代表取締役社長	坂田 甲一
トヨタ自動車(株)	代表取締役社長	豊田 章男
DOWAホールディングス(株)	代表取締役社長	関口 明
(株)ニチケアパレス	代表取締役	齊藤 正俊
(株)ニフコ	代表取締役社長	山本 利行
日本ライフライン(株)	代表取締役社長	鈴木 啓介
(株)パラダイスインターナショナル	代表取締役	新井 秀之
富士電機(株)	代表取締役社長	北澤 通宏
(株)不二家	代表取締役社長	河村 宣行
(株)プライムステーション	代表取締役	浅田 亨
丸紅(株)	取締役会長	國分 文也
(株)三井住友銀行	頭取CEO	高島 誠
三菱商事(株)	代表取締役社長	垣内 威彦
三菱倉庫(株)	相談役	宮崎 毅
(株)三菱UFJ銀行	特別顧問	小山田 隆
(株)明治	代表取締役社長	松田 克也
森ビル(株)	代表取締役社長	辻 慎吾
ヤマトホールディングス(株)	代表取締役社長	長尾 裕
(株)山野楽器	代表取締役社長	山野 政彦
ユニオンツール(株)	代表取締役会長	片山 貴雄
楽天(株)	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
(株)リソー教育	取締役会長	岩佐 実次

後援会員

欧文印刷(株)	代表取締役社長	和田 美佐雄
(有)オルテンシア	代表取締役	雨宮 睦美
(医)カリタス菊山医院	理事長	加藤 徹
(株)京王エージェンシー	代表取締役社長	大里 公二
(医)だて内科クリニック	理事長	伊達 太郎
(宗)東京大仏・乗蓮寺	代表役員	若林 隆壽
(一社)凸版印刷三幸会	代表理事	足立 直樹

(株)日税ビジネスサービス	代表取締役会長兼社長	吉田 雅俊
富士通(株)	代表取締役社長	時田 隆仁
本田技研工業(株)	代表取締役社長	八郷 隆弘
三菱地所(株)	執行役社長	吉田 淳一
三菱重工業(株)	取締役社長	泉澤 清次
三菱電機(株)	執行役社長	杉山 武史

ご支援のお願い

2020年3月、東京フィルハーモニー交響楽団は創立109年を迎えました。

1月に新シーズン開幕を迎えた東京フィルは、1月から12月までの一年を通じて、皆様の暮らしと共に響きあう音楽をお届けし、心豊かな社会へと繋ぐ役割を担います。また、定期演奏会や「午後のコンサート」、特別演奏会や提携都市公演ほか多様な音楽活動を通して、国際的に活躍する演奏家や将来を嘱望された若手演奏家らと共に様々な作品に取り組み、より広く多くの皆様にオーケストラの価値を認知いただけるよう尽力いたします。そして、日本の芸術文化発展に寄与すべく、多様化するグローバルな社会において文化交流の架け橋となるよう、より一層努めてまいります。

是非とも皆様方からお力添えを賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

ご寄附会員の種別

種別		年会費1口
オフィシャル・サブライヤー		詳細はお問い合わせください。
法人会員	賛助会員	50万円
	後援会員	30万円
パートナー会員	ワンハンドレッドクラブ	100万円
	フィルハーモニー	50万円
	シンフォニー	30万円
	コンチェルト	10万円
	ラブノディ	5万円
	インテルメッツォ	3万円
	プレリユード	1万円

※東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「賛助会デスク」または東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。資料をお送りいたします。ご入会後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部 (担当: 星野^{かのまた} 麗文)

電話: 03-5353-9521 (平日10時~18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督
Honorary Music Director

チョン・ミョンフン
Myung-Whun Chung

首席指揮者
Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ
Andrea Battistoni

桂冠指揮者
Conductor Laureate

尾高 忠明
Tadaaki Otaka

大野 和士
Kazushi Ono

ダン・エッティンガー
Dan Ettinger

特別客演指揮者
Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ
Mikhail Pletnev

レジデント・コンダクター
Resident Conductor

渡邊 一正
Kazumasa Watanabe

アソシエイト・コンダクター
Associate Conductor

チョン・ミン
Min Chung

永久名誉指揮者
Permanent Honorary Conductor

山田 一雄
Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者
Permanent Member and
Honorary Conductor

大賀 典雄
Norio Ohga

コンサートマスター
Concertmasters

近藤 薫
Kaoru Kondo

三浦 章宏
Akihiro Miura

依田 真宜
Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン
First Violins

小池 彩織☆
Saori Koike

榊原 菜若☆
Namo Sakakibara

坪井 夏美☆
Natsumi Tsuboi

柄本 三津子☆
Mitsuko Tochimoto

平塚 佳子☆
Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之
Yoshiyuki Asami

浦田 絵里
Eri Urata

景澤 恵子
Keiko Kagesawa

加藤 光
Hikaru Kato

巖築 朋美
Tomomi Ganchiku

坂口 正明
Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久
Saku Suzuki

高木 祐香
Yuuka Takagi

高田 あきの
Akino Takada

田中 秀子
Hideko Tanaka

津田 好美
Yoshimi Tsuda

中澤 美紀
Miki Nakazawa

中丸 洋子
Hiroko Nakamaru

廣澤 育美
Ikumi Hiroswawa

弘田 聡子
Satoko Hirota

松田 朋子
Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン
Second Violins

戸上 真里◎
Mari Togami

藤村 政芳◎
Masayoshi Fujimura

水島 路◎
Michi Mizutori

宮川 正雪◎
Masayuki Miyakawa

小島 愛子☆
Aiko Kojima

高瀬 真由子☆
Mayuko Takase

山内 祐子☆
Yuko Yamanouchi

石原 千草
Chigusa Ishihara

出原 麻智子
Machiko Idehara

太田 慶
Kei Ota

葛西 理恵
Rie Kasai

黒沢 誠登
Makoto Kurosawa

佐藤 実江子
Mieko Sato

二宮 祐子
Yuko Ninomiya

藤瀬 実沙子
Misako Fujise

山代 裕子
Yuko Yamashiro

吉田 智子
Tomoko Yoshida

吉永 安希子
Akiko Yoshinaga

若井 須和子
Suwako Wakai

渡邊 みな子
Minako Watanabe

ヴィオラ
Violas

須田 祥子◎
Sachiko Suda

須藤 三千代◎
Michiyo Suto

高平 純◎
Jun Takahira

加藤 大輔◎
Daisuke Kato

伊藤 千絵
Chie Ito

岡保 文子
Ayako Okayasu

曾和 万里子
Mariko Sowa

高橋 映子
Eiko Takahashi

手塚 貴子
Takako Tezuka

中嶋 圭輔
Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子
Tazuko Hirumi

古野 敦子
Atsuko Furuno

村上 直子
Naoko Murakami

森田 正治
Masaharu Morita

チェロ Cellos	コントラバス Contrabasses	オーボエ Oboes	ホルン Horns	トロンボーン Trombones	ハープ Harps
金木 博幸◎ Hiroyuki Kanaki	片岡 夢児◎ Yumeji Kataoka	荒川 文吉◎ Bunkichi Arakawa	磯部 保彦◎ Yasuhiko Isobe	五箇 正明◎ Masaaki Goka	梶 彩乃 Ayano Kai
服部 誠◎ Makoto Hattori	黒木 岩寿◎ Iwahisa Kuroki	加瀬 孝宏◎ Takahiro Kase	齋藤 雄介◎ Yusuke Saito	中西 和泉◎ Izumi Nakanishi	田島 緑 Midori Tajima
渡邊 辰紀◎ Tatsuki Watanabe	小笠原 茅乃◎ Kayano Ogasawara	佐竹 正史◎ Masashi Satake	高橋 臣宜◎ Takanori Takahashi	辻 姫子◎ Himeko Tsuji	宮原 真弓 Mayumi Miyahara
黒川 実咲☆ Misaki Kurokawa	遠藤 柁一郎 Shuichiro Endo	杉本 真木 Maki Sugimoto	今井 彰 Akira Imai	石川 浩 Hiroshi Ishikawa	ライブラリアン Librarians
高麗 正史☆ Masashi Korai	岡本 義輝 Yoshiteru Okamoto	三谷 真紀 Maki Mitani	大東 周 Shu Ohigashi	平田 慎 Shin Hirata	武田 基樹 Motoki Takeda
石川 剛 Go Ishikawa	小栗 亮太 Ryota Oguri	若林 沙弥香 Sayaka Wakabayashi	木村 俊介 Shunsuke Kimura	山内 正博 Masahiro Yamauchi	
大内 麻央 Mao Ouchi	熊谷 麻弥 Maya Kumagai		田場 英子 Eiko Taba		ステージマネージャー Stage Managers
太田 徹 Tetsu Ota	菅原 政彦 Masahiko Sugawara	クラリネット Clarinets	塚田 聡 Satoshi Tsukada	テューバ Tubas	
菊池 武英 Takehide Kikuchi	田邊 朋美 Tomomi Tanabe	チョ・スンホ◎ Sungcho Cho	豊田 万紀 Maki Toyoda	大塚 哲也 Tetsuya Otsuka	稲岡 宏司 Hiroshi Inaoka
佐々木 良伸 Yoshinobu Sasaki	中村 元優 Motomasa Nakamura	アレッサンドロ・ ベヴェラリ◎ Alessandro Beverari	古野 淳 Jun Furuno	荻野 晋 Shin Ogino	大田 淳志 Atsushi Ota
長谷川 陽子 Yoko Hasegawa		万行 千秋◎ Chiaki Mangyo	山内 研自 Kenji Yamanouchi		古谷 寛 Hiroshi Furuya
渡邊 文月 Fuzuki Watanabe	フルート Flutes	黒尾 文恵 Fumie Kuroo	山本 友宏 Tomohiro Yamamoto	ティンパニ& パーカッション Timpani & Percussion	
	神田 勇哉◎ Yuya Kanda	林 直樹 Naoki Hayashi		岡部 亮登◎ Ryoto Okabe	
	斉藤 和志◎ Kazushi Saito		トランペット Trumpets	塩田 拓郎◎ Takuro Shiota	
	吉岡 アカリ◎ Akari Yoshioka	ファゴット Bassoons	川田 修一◎ Shuichi Kawata	高野 和彦◎ Kazuhiko Takano	
	さかはし 矢波 Yanami Sakahashi	チェ・ヨンジン◎ Young-Jin Choe	野田 亮◎ Ryo Noda	木村 達志 Tatsushi Kimura	
	下払 桐子 Kiriko Shimobarai	廣幡 敦子◎ Atsuko Hirohata	古田 俊博◎ Toshihiro Furuta	鷹羽 香緒里 Kaori Takaba	
	名雪 裕伸 Hironobu Nayuki	井村 裕美 Hiromi Imura	重井 吉彦 Yoshihiko Shihei	縄田 喜久子 Kikuko Nawata	
		桔川 由美 Yumi Kikkawa	杉山 眞彦 Masahiko Sugiyama	船迫 優子 Yuko Funasako	
		森 純一 Junichi Mori	前田 寛人 Hirohito Maeda	古谷 はるみ Harumi Furuya	

◎首席奏者
Principal○副首席奏者
Assistant Principal☆フォアシュピラー
Vorspieler

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』などの放送演奏、各地学校等での訪問コンサート等により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を得ている。

1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2011, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrated its 100th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, TPO performs both symphonies and operas regularly. TPO is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting TPO since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

TPO has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

TPO has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>



©上野隆文

役員等・事務局・団友

役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦	岩崎 守康	伊東 信一郎
	大賀 昭雄	山野 政彦	海老澤 敏
副理事長	大塚 雄二郎		佐治 信忠
黒柳 徹子	小山田 隆		鈴木 勲
専務理事	篠澤 恭助		鈴木 啓介
石丸 恭一	田沼 千秋		瀬谷 博道
	寺田 琢		日枝 久
常務理事	遠山 敦子		南 直哉
工藤 真実	野本 弘文		
	韓 昌祐		
	平井 康文		
	宮内 義彦		

事務局

楽団長	公演事業部	ステージマネージャー	ライブラリアン	広報渉外部	総務・経理
石丸 恭一	市川 悠一	稲岡 宏司	武田 基樹	伊藤 唯	川原 明夫
	岩崎 井織	大田 淳志		鹿又 紀乃	鈴木 美絵
事務局長	大久保 里香	古谷 寛		千木 加寿子	
工藤 真実	大谷 絵梨奈			二木 憲史	
	佐藤 若菜			星野 友子	
	村尾 真希子			松井 ひさえ	
				安田 ひとみ	

団友

安藤 栄作	岡部 純	河野 啓子	佐野 恭一	長池 陽次郎	細洞 寛
池田 敏美	小樽 敦子	近藤 勉	清水 真佐子	長岡 愼	本田 詩子
糸井 正博	小山 智子	今野 芳雄	瀬尾 勝保	長倉 穰司	松澤 久美子
井料 和彦	甲斐沢 俊昭	齊藤 匠	高岩 紀子	新田 清枝	湊 貞男
岩崎 龍彦	加藤 明広	坂口 和子	高村 千代子	新田 伸雄	山屋 房子
植木 佳奈	加藤 博文	嵯峨 正雄	竹林 良	野仲 啓之助	吉田 啓義
上野 眞行	金崎 真由美	嵯峨 美穂子	竹林 陽子	玻名城 昌子	米倉 浩喜
生方 正好	川人 洋二	桜木 弘子	田中 千枝	福村 忠雄	脇屋 俊介
大兼久 輝宴	木村 友博	笹 翠	田村 武雄	藤原 勲	
大和田 皓	黒川 正三	佐々木 等	戸坂 恭毅	細川 克己	

〈発行日〉 2020(令和2)年8月4日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉 東京フィルハーモニー交響楽団

〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズ・ホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン〉 米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとま舎

〈印刷〉 歐文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra *無断転載を禁ず(非売品)



TOKYO PHILHARMONIC